

アプリ等を活用した被害対策の推進と事務負担軽減に向けたの取組 —長崎県—

【基礎情報】

○位置

いさはやし おおむらし つしまし さいかい
長崎県諫早市、大村市、対馬市、西海
ひがしそのぎちよう かわたなちよう はさみちよう
市、東彼杵町、川棚町、波佐見町



○主な対象獣種

イノシシ

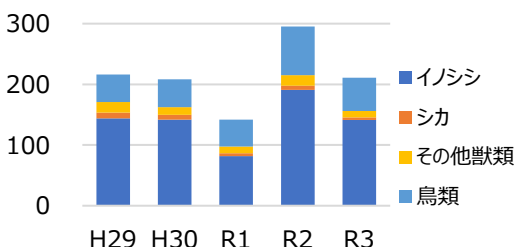
○活用した技術

- GIS（水土里情報システム）
- 捕獲確認アプリ（ラクログ）

○地域の状況

イノシシの被害情報や捕獲情報、防護柵の整備状況等を紙媒体で管理しており、事務処理等に多大な労力を要す上、被害対策の計画立案に各種情報を活用できていない。

（百万円） 獣種別被害額（長崎県）



【取組内容】

Plan：計画

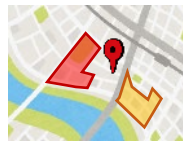
導入する捕獲確認アプリについて、県と自治体との意見交換を実施。**自治体が紙媒体で保有している対策状況のデータと捕獲情報（捕獲場所、捕獲日時、獣種等）をGIS上に集約し、データに基づく被害対策を実施していくという目的を共有。**



紙媒体での管理



捕獲確認アプリの導入



データをGIS上に集約

Action：改善

- 捕獲確認アプリの効果についての検討会を実施し、自治体職員等に対してアプリ使用による事務量削減効果やGIS上に一元的に集約された情報に基づく戦略的な対策への活用方法を周知
- 捕獲確認アプリの課題を把握し、次年度以降の使用継続に向けた改善内容についてメーカー、自治体職員と協議。



研修会の様子

Do：実行

- 捕獲従事者に対し、捕獲確認アプリ使用説明会を開催
- 捕獲確認アプリを活用した捕獲の実施
- 紙媒体の侵入防止柵等の対策情報をGIS上に集約



説明会の様子



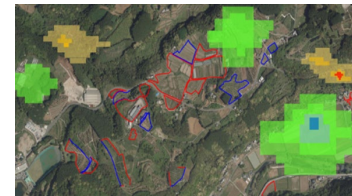
対策状況をGIS上に入力

Check：点検

- 捕獲確認アプリ使用者や自治体職員との意見交換による事務量削減効果や課題等の把握
- GIS上の対策情報に被害状況や捕獲状況まで集約して可視化したマップを作成



捕獲従事者等との意見交換



GIS上に捕獲状況・被害状況を反映

【取組の成果及び評価】

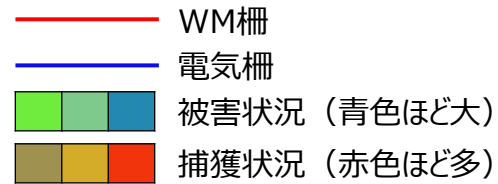
- 被害状況や、捕獲情報をはじめとする対策実施状況の可視化によって戦略的な対策の計画・実施に繋がることを自治体担当者に示すことができた。
- アプリ利用による事務負担軽減の余地を検証（最大7割程度の事務負担軽減と試算）でき、導入による被害防止活動の強化が期待される。

【今後の展望、取組の普及方針】

- この取り組み事例を、今後県内自治体に周知し、事業成果の普及を図ることとしている。
- 引き続き、自治体に対してデータに基づく被害対策が実施できるよう情報提供等の支援を行う。

実施主体：長崎県 農林部 農山村振興課 TEL095-895-2917

参考：GIS画面イメージ



※ 紙媒体で整理されていた侵入防止柵をGIS上に可視化することで、戦略的な対策の計画・実施を図ることができる。

